

平成30年度 尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議録
—公開プレゼンテーション—

1 開催日時

平成30年6月16日（土）

開会：午前9時30分 閉会：午後12時10分

2 開催場所

尾張旭市渋川福祉センター 研修室

3 出席者（敬称略）

【候補選定会議候補選定員（以下「候補選定員」という。）】

伊藤 雅一 学校法人菊武学園 名古屋産業大学 大学院研究科長

市野 恵 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 代表理事

石坂 清二 市民生活部長

山下 昭彦 総合推進室長

【申請団体】

① 山の手自治会

② 第三緑ヶ丘町内会

③ 桜ヶ丘東自治会

④ 第一南山町内会

⑤ 松ヶ丘町内会

⑥ 第二白山町内会

⑦ 本地ヶ原連合自治会

【事務局】

岡田 和也 市民活動課長

木村 幸広 市民活動課コミュニティ係長

喜多野純子 市民活動支援センター副主幹

田中 貴大 市民活動課コミュニティ係主事

宮崎美由紀 市民活動課コミュニティ係職員

4 会議概要

開会あいさつ・候補選定員紹介

申請事業プレゼンテーション・質疑応答

候補選定結果発表

候補選定員講評

質疑応答

閉会あいさつ

5 申請事業プレゼンテーション・質疑応答

① 山の手自治会 防災・防犯活動を通し仲間づくり街づくり

伊藤候補選定員	参加予定人数が延べ500人以上ということで、世帯の5割以上というかなり高い参加率で設定されていますが、実際に5割以上の参加が見込めるのでしょうか。また、500人以上参加した場合、課題があるとしたらどのようなことが考えられますか。
山の手自治会	参加人数を増やすことが課題ではあるが、人を集めるために、炊き出し等、食に関することも盛り込みながら、堅苦しいものではなく自然に集められるように仕掛け作りをしていきたい。
石坂候補選定員	蓄光ボードを配布するというのですが、収支予算書に安否確認タオルも経費に含まれております。どちらか選択制なのか両方配布するのか、または参加者だけなののでしょうか。また、会議机はどこで使われるのでしょうか。
山の手自治会	蓄光ボードは、無事を確認するもので、安否タオルは助けを求めている場合に使用し、助けてほしい度合いによって色分けで表示してもらうため、両方とも全戸配布です。 机は、高齢者からキャスター付きの机がよいという要望があり、少しずつ備えていきたいと思っております。

② 第三緑ヶ丘町内会 「第三緑ヶ丘（1組～8組）中学生英語教室」

市野候補選定員	子ども会は、小学生対象ですが、なぜこの事業は中学生対象なののでしょうか。また、自治会でこの活動を支えてくれている方たちが何名いらっしゃいますか。
第三緑ヶ丘町内会	基本的に、小学校で英語を勉強する必要がないと感じており、小学校から始めるとかえって日本語に影響が出ると思うので、あえて中学生からとしています。また、ボランティアとしての協力者はありません。

③ 桜ヶ丘東自治会 地域の自主防災の構築（3年間のまとめ）

伊藤候補選定員	要支援者支援活動を持続するための策として、スタッフ講習会や、会議の開催を行っているということですが、方向性としては、毎年組長が変わるのでその方たちに毎年講習や会議をして情報共有し、いずれは町内会すべてのかたが支援員として見守っていこうとされているのでしょうか。
桜ヶ丘東自治会	新しい方には、改めて資料を用意して、「防災とは」というところから説明し、最終的には要支援者支援活動に繋げていければと考えております。
石坂候補選定員	事業内容も多岐に渡っており、支出も消耗品がたくさん上がっていま

	すが、すべて今年度に購入予定のものということによろしいですか。
桜ヶ丘東自治会	はい。今年度購入予定です。
石坂候補選定員	今年度で3回目の申請で、来年度このテーマでは助成金を受けられませんが、来年度以降、財源の捻出はどのように考えていますか。
桜ヶ丘東自治会	今まであるものを使って、必要最低限の購入で事業を続けていこうと考えています。

④ 第一南山町内会 ふれあい活動を通じて地域のより一層の活性化をめざす

市野候補選定員	収入に会費等とありますが、何の会費でしょうか。
第一南山町内会	以前は募金のみでやっておりましたが、現在はスポーツ吹矢のみ会費を集めております。
山下候補選定員	会報誌など、役員への負担が大きいのと思いますが、役割分担はどのようにされていますか。また、特徴的なスポーツ吹矢の評判はどうでしょうか。
第一南山町内会	できるだけ、リーダーには負担をかけないように考えています。スポーツ吹矢については、今10人ぐらいの方がやっており、他の町内の方も多くみえます。

⑤ 松ヶ丘町内会 「心と体の健康生活」の維持向上

伊藤候補選定員	高齢社会が進展する中で心と体の健康づくりは非常に重要だと思います。チャレンジ賞の拡充・ダブル表彰に着目した理由は何でしょうか。
松ヶ丘町内会	今までチャレンジ賞は町内会開催の事業だけでやっていました。ダブル賞を設けて、あさひ健康マイスター手帳のポイント獲得と併用することにより、町内会活動の参加を促しています。また、参加人数が把握しやすくなります。
石坂候補選定員	心の健康と体の健康はご高齢の方を対象にされていると思いますが、マイスターとスコアカードは全戸配布ということですので全ての方を対象にされていると思いますが、若い世代の手ごたえはございますか。
松ヶ丘町内会	すでに町内の清掃や、防災訓練など実施しましたが名簿にもあります通り、早くから多くの方が参加されている状況です。

⑥ 第二白山町内会 第二白山防災協力隊

市野候補選定員	家具転倒防止に取り組むとありますが、金具などの予算はどうされるのでしょうか。
第二白山町内会	個人負担になります。
山下候補選定員	昨年と比べて小学生の参加が増えたということでしたが、増やすための工夫がありましたら教えてください。また、収支予算書の中の需用費で、ホワイトミートとありますが、これはどのようなものでしょうか。

第二白山町内会	<p>新しく引越された方のお子様の参加が増えました。参加されたお子様にはお菓子を配布するなど工夫をしました。</p> <p>ホワイトミートとは、ホワイトボードの上に張って会議等のメモを外すとそのまま文字が残るといったものです。</p>
---------	---

⑦ 本地ヶ原連合自治会 地域防災サバイバルキャンプ

伊藤候補選定員	<p>なぜサバイバルキャンプを実施しようと考えたのですか。また、当日100名の参加者に対して、スタッフは何名ぐらいで行う予定ですか。</p>
本地ヶ原連合自治会	<p>実際被災に合ったときにどうするのかというところで、実際に体験できる場を設けようと考え、また周りの企業や子供たちが参加できる事業を行いたいということで実施することになりました。</p> <p>本地ヶ原連合自治会には防災関係で50名ほどの組織があるため、その中のメンバーで運営します。また、サバイバルキャンプ実行委員会を10名で立ち上げ、1年間活動していきます。</p>
石坂候補選定員	<p>11月24日・25日に実施するということでしたが、この時期の体育館は非常に寒いと思います。参加者100名の寒さ対策はどのようにされるのでしょうか。</p>
本地ヶ原連合自治会	<p>細かい調整はこれからしていく予定ですが、ダンボールのシェルターで十分温まると考えております。</p>

6 候補選定会議

- (1) 候補選定員による採点
- (2) 採点結果集計及び評価率の算出
- (3) 選定結果の確認

7 候補選定結果発表

自治会等名（申請順）	ランク	申請額	助成額
山の手自治会	A	100,000円	100,000円
第三緑ヶ丘町内会	A	18,000円	18,000円
桜ヶ丘東自治会	A	93,000円	93,000円
第一南山町内会	A	100,000円	100,000円
松ヶ丘町内会	A	85,000円	85,000円
第二白山町内会	A	63,000円	63,000円
本地ヶ原連合自治会	A	100,000円	100,000円

山下候補選定員

【山の手自治会・第三緑ヶ丘町内会 講評】

本日のプレゼンテーション、本当にお疲れ様でした。資料の作成や、発表の取りまとめなど、ご多忙の中、取り組まれましたことに対し、まづもって敬意と感謝を表させていただきます。

今回、私は3回目の参加となりますが、正直「審査のため」ではなく、「勉強のため」毎回皆さんのプレゼンを拝見させていただいておりますが、今年は例年にも増してレベルの高い、素晴らしい内容ばかりで、大変感銘を受けたところでございます。

はじめに山の手自治会様につきましては、長年の実績に裏打ちされた素晴らしい内容で、説得力のあるプレゼンは、もう完全に「堂に入った」感じを受けたところであります。そうした中で3点、感じたことを申し上げたいと思います。

まず1点目としては、今回はテーマを「防災・防犯活動を通し仲間づくり街づくり」とされたところでありますが、「絆」や「結」、「お互いさま」といった「地域コミュニティの基礎」の部分を押さえつつ、日々の暮らしを送る上で最も重要な「安全・安心」につなげておられるところは、「さすが」と感じたところであります。

次に2点目としては、地域にお住いの、いわゆる「手に職のある方々」の協力を得て、失われつつある「人と人との付き合い」を作り出す仕組みを、考え出されたところに感銘を受けたところであります。とかく地域の防災活動は、役員の皆さんに頼るところが大きくなってしまいがちだと思いますが、「地域の宝」とも言える方々の、貴重な力をお借りするといった発想に関しては、私ども行政にとっても、今後求められるところではないかと感じたところであります。

最後に3点目としては、今回「事業の目的」のところに、最近つとに見聞きする「自助」「共助」という言葉がありましたが、その前の部分で「万一の時、待ち、つまり受け身ではなく、住民主体の自主活動ができるように」と表現しておられ、これによって「自助」「共助」の示す意味が、スナリ腹に落ちたように感じたところであります。また、プレゼンの際にも「災害は忘れてなくてもやってくる」、「憂いあれども備えなし」とありましたが、このような分かりやすい表現が、地域の皆さんの共感を得て、また事業の実現につなげるためには、大変重要であることを改めて感じたところであります。

いずれにしましても山の手自治会様の事業は、毎度ながら、緻密な計画と体制によって確立された内容でありますので、今回も、今後の展開を非常に楽しみにしております。本日はありがとうございました。

続いて、今回初めて参加された第三緑ヶ丘町内会様の「中学生英語教

室」についてですが、こちらも3点申し上げたいと思います。

まず1点目としては、「地域で子供を育てる」という観点が薄らいでいる中、今後のグローバル化にも対応できる人材の育成を、地域で進めていこうとしておられるところに、非常に感銘を受けたところでありませう。これについては、先ほどの山の手自治会様の「専門職経験者」の取組みと似ている点もあるかと思いますが、今後はこうした「地域の宝」を、うまく地域活動に活かしていく。そうした取組みが重要であることを、改めて認識したところでありませう。

次に2点目としては、その「グローバル化」に伴い、私ども市役所内でも数年前から、外国語専門の職員を配置しているところでありませう。市内にお住まいの外国人の数は、名古屋市や豊田市等と比べますと、まだ少ないものの、最近話題の「民泊」の普及や、2020年の東京オリンピックの開催等によって、今後は外国の方と接する機会が増加する可能性もあります。そうしたことを踏まえますと、英語教室の対象を、現在の「中学生」から、「大人の年代」まで拡大されると、今後の「国際交流の促進」にもつながるのではないかと感じたところでありませう。

そして最後に3点目。ここが最も強く感じたところでありませうが、今回の事業は「子ども達に英語を教える」といったことだけに留まらず、「第三緑ヶ丘町内会では、独自で英語教室を開催しているのだ」といった自慢や自信、そして誇りにもつながるものであると思います。その意味においても、今回の取組みは非常に有益であり、こうした活動を積み重ねていただければ、きっと地域の皆さんに「これからも、この地域に住み続けたい」と思ってもらえることにつながるものと思ひませう。実際の運営に当たっては、様々なご苦勞もあるかと思いますが、できれば、地域の皆様方から支援していただくことによつて、継続的な事業へとつなげていっていただきたいと思ひませう。本日はありがとうございました。

石坂候補選定員

【桜ヶ丘東自治会・第一南山町内会 講評】

本日は、7団体の方がエントリーしていただきありがとうございます。また、本日のプレゼンテーションお疲れ様でした。

それでは、桜ヶ丘東自治会の地域の自主防災の構築（3年目のまとめ）の講評をさせていただきます。

今回、3年目ということで、1年目・2年目同様に盛りだくさんの事業が展開されていて、中身も非常によく練られていると関心致しました。桜ヶ丘東自治会のパワーを感じさせていただきました。先ほど、質問の中で財源がなくなったらどうされるのかお伺いしましたが、「まだまだ、続けてやっていきます」という、力強い回答を頂きまして、非常に安心しました。このようなことを、継続していけば桜ヶ丘東自治会に

お住まいの方々が、「ここに住んでよかった」、「ここに住んでいる限りは安心だ」と実感していただける町になっていくと期待をしております。ぜひ、今後も継続していただきたいと思います。また、冒頭のあいさつの時に申し上げましたが、この助成制度は結束力を高めるための活動でもあるとお話をさせていただきました。これは、災害時等に地域のまとまりが必ず必要になってくるのはみなさんご存知だと思いますが、継続していくというのが非常に大事だと思いますので、今後も継続されるということですので、いざという時に迅速に活動できるのではないかと思います。来年も、是非結束力の高まる事業でエントリーしていただけたらと思いますので次の事業計画も練っていただきたいと思います。

次に、第一南山町内会の「ふれあい活動を通じて地域のより一層の活性化をめざす」を発表していただきました。私たちは、このプレゼンテーションで始めて事業内容を知るのではなく、事前に書類を頂いて拝見させていただきましたが、第一南山町内会はスケジュール表をつけてあり、非常に分かりやすく見させていただくことができました。また、収支予算書も非常に詳細に書かれており、大変参考になりました。

事業の内容につきましては、高齢者の生きがづくりや、健康づくり、また子供も巻き込んだ事業もあり、地域のコミュニケーションの向上が図られる事業だと感じました。こういった、地域の結束はかせないものですので、非常に期待しております。

このような事業は、特定の人に偏ってはいけないので、さまざまな種目がございすが新たな方を増やすためにも、3回目に向けて新しい取り組みも研究していただけたらと思います。また、去年は「やろまい会」という名前が何度か書類に出ていて非常にいいネーミングだと思っていました。今回は「やろまい会」が書類に出てこなかったのですがどうしたのかなと思っていましたが、発表の冒頭で「やろまい会」とおっしゃっていたので安心しました。非常に、熱意が伝わってくる発表で3回目も期待しております。本日は、ありがとうございました。

市野候補選定員

みなさん、プレゼンテーションお疲れ様でした。ここまでまとめ上げるのにとってもお時間をかけて練られたと思います。

私自身もいろいろなところで、助成金を申請するときにはプレゼンテーションをしますが、事業のための事業ではなく、地域のための、なにを解決するか、どう次世代へつないでいくかということを考えるためにも、こういった選定会議はととてもよい勉強の機会になると思っています。それと同時に、地域の皆さんと一緒に取り組んでいく時に、企画をされた人だけの思いが頭の中にあるのではなく、それを整理していろいろな人たちに理解していただき、一緒に取り組むときの行為形成に必ず必要になると思いますので、こういった機会を上手に使っていただい

て、事業を整理してスケジュールや予算をしっかりと組んで、いろいろな方たちの合意を図りながら進めていっていただきたいと思います。

松ヶ丘町内会についてですが、「心と体の健康生活」の維持向上ということで、内容がとても素晴らしいと感服いたしました。いろいろな活動を自分たちだけではなく、市が推奨しているあさひ健康マイスター手帳を上手に利用していて、参加が益々増えていくと感じました。また、ポイントを自分たちで集計しているということなのでポイントが多い人だけでなく、視点を変えて「ポイントが少ない人はどうされているのかな」と視野を広げて、次年度以降、取り組みをもっと広げていただければと思います。

次に、第二白山町内会ですが、高齢化が進んでいる地域ということで、町内会という小さなエリアという中でこれだけ企画を立てて防災に取り組まれているということがとても素晴らしいと思いました。費用面も心配してしまいましたが、かなり個人負担で進められているようなので、市やいろいろな人に関わってもらって、助けてもらってもよいのではないかと思います。地域でも、いろいろな資格を持っている人にも協力してもらおうなど、活動の幅を広げていってほしいと思います。

また、本地ヶ原連合自治会についてですが、やり方としてアンケートを実施して住民の意思を反映させたものをつくられているということで素晴らしいと思いました。また、小学校と連携をしているということで地域と連携されていてよいと思います。ただ、名古屋市にお勤めの方も多く、いつ災害が起きるかわからない中で、昼間大人がいないときに、子供が担えるのかというとなかなか難しいのではないかと思いますので中学生とも連携をしていくことも期待したいと思います。

私は、地域福祉を推進しておりますので今、国が地域包括ケアシステムということで、地域に住む人たちが住民自治を進めていき、その中で子供たちから高齢者までいろいろな人たちが自分たちの町づくりを進めていくのに、まずは地域を見ていきましょう、その中で必要なものを自分たちで発信していきましょう、という取り組みを進めています。自治会だけ、町内会だけということでは限界があるので、社会福祉協議会や生活支援コーディネーターという人たちもいるので、いろいろな人たちに相談をして取り組みを進めていただければと思います。ありがとうございました。

伊藤候補選定員

【総評】

本日はみなさんお疲れ様でした。

本年度は7件の申請がありました。その内訳は防災分野が4件、健康づくり分野が1件、地域交流分野が1件、教育分野が1件でした。全体的な印象としては、実行の可能性が高い事業を組み合わせ実施され、

その定着を図ろうということに重点が置かれていたと思います。そういった意味で、しっかりとした申請内容であったと思います。この助成事業は今年度で10年目ですが、いままでに65の事業が実施されたということでしたが、私もこの選定会議に10年間関わらせていただき、過去、防災・防犯、健康、地域交流の3つの分野がどれくらいあるか、確認をしてみました。その結果、9割が防災・防犯でした。ということは、自治会活動として促進すべき取り組みは防災・防犯なのかなと思います。健康づくりも健康都市として活発であり、地域交流も地域の触れ合いであり、この3つの分野が非常に重要だということが、この10年間で明確になってきたと思います。この3つの分野について、過去いろいろな自治会、町内会が取り組んでいただき、今年度も取り組んでいただいているということで具体的な取り組みが多くの人たちに示されています。それにより、今まで申請したことのない自治会、町内会も地域にあった取り組みを実施できる仕組みができてきたのかなと思います。そういった意味で、10年間の蓄積は、多くの市民に共有されて、豊かで安心できる地域になっていくために非常に重要だと思います。

もう1点は、桜ヶ丘東自治会が3年間継続してきて、「持続」ということをキーワードにとりあげて3年間のまとめということで発表していただきました。このように、1年目は事業を実施してみよう、2年目はこの事業を地域に定着させよう、3年目は定着させてきた事業をいかに持続させるか、という3つの段階で自治会活動を考えると非常に分かりやすいと思います。今日始めて教育分野の申請も出ましたが、英語の学力も今非常に注目されている中で取り上げられた申請内容だったと思います。1年目はやってみる、2年目は地域と連携するというように、いかに計画を図っていくか期待したいと思います。今回は、7団体の申請がありましたが、1月にございます中間報告会には、しかるべき成果をご期待させていただきまして総評にかえさせていただきます。今日は本当にありがとうございました。

8 質疑応答
なし

9 その他

本地ヶ原連合自治会

去年、9団体の申請があったが、今年7団体の申請しかなかった。自治会や町内会単位で申請がもっと出てきたら良いと思う。市が会議などで取り上げて情報を収集し、自治会、町内会へ声がけをして参加団体を増やしてもよいのではないかと思います。もう1点は、市野候補選定員の講評の中で中学生も連携してどうか、というお話しに補足をさせてい

	<p>ただきますが、本地ヶ原連合自治会では、小学生も中学生も連携して活動しております。</p>
事務局	<p>みなさんが申請していただいた内容をいかに他に広げ、繋げていくかは市民活動課の使命と感じております。ただ、情報を発信するだけではなく、自治会・町内会に負担なく繋げていけるかもあわせて検討していきたいと思っております。</p>